

認知症に関する活動計画(概要)

京都府作業療法士会では、社会貢献局に位置付けられる認知症支援委員会を中心として、府民に対する認知症支援を軸とした直接的社会貢献事業や、府内の作業療法士への教育研修事業等に取り組んでいます。

認知症カフェへの委員の派遣

京都府作業療法士会の認知症支援委員会では、地域の認知症カフェと連携し、**認知症のある方やご家族が地域で安心して過ごせる場づくりを支援する活動**を行っています。

主な活動の一つとして、認知症カフェへ作業療法士を定期的に派遣しています。派遣された作業療法士は、カフェの準備や受付、参加者の見守り、交流、ストレッチやレクリエーションなどに参加し、必要に応じて作業療法士としての視点から運営者への助言や情報共有を行っています。

また、「**認知症カフェに参加してみたい**」「**地域で認知症支援に関わってみたい**」という**作業療法士からの問い合わせにも対応**しています。希望する作業療法士に対して、参加可能な認知症カフェを紹介するなど、地域のカフェと作業療法士をつなぐ役割も担っています。これらの活動を通じて、認知症カフェへの継続的な支援だけでなく、**地域で認知症支援に関わる作業療法士を増やし、認知症のある方・ご家族・地域住民・専門職がつながる地域づくり**を進めています。

認知症の人と家族の会との連携

京都府作業療法士会の認知症支援委員会では、**公益社団法人 認知症の人と家族の会 京都府支部へ委員を世話人として派遣し、継続的な連携・協力**を行っています。

世話人として京都府支部のさまざまな活動に参加し、認知症のある方やご家族への支援、交流、啓発活動、各種行事などについて、京都府支部の皆さまと協力しながら活動を支援しています。

こうした連携を通じて、**認知症のある方やご家族の声を直接伺い、その思いやニーズを理解するとともに、作業療法士として地域の認知症支援に貢献すること**を大切にしています。

京都認知症カフェ連絡会との連携

世話人1名を派遣し、運営への協力を行っています。また、**2023年6月からは連絡会事務局を京都府作業療法士会の事務所に置き、認知症支援推進部が事務局運営を含めた継続的な支援を行っています。**世話人の派遣に加え、事務局機能を担うことで、関係団体との連携を図りながら、地域における認知症支援のネットワークづくりを支えています。

楽しい飲み会

認知症支援委員会では、委員同士の交流と親睦を深めることを目的に、**ビアガーデンで食事会を開催しました。**

日頃の委員会活動とは少し違った和やかな雰囲気の中で、食事を楽しみながら交流を深める機会となりました。今後も委員同士のつながりを大切にしながら、楽しく協力して認知症支援の活動に取り組んでいきます。

